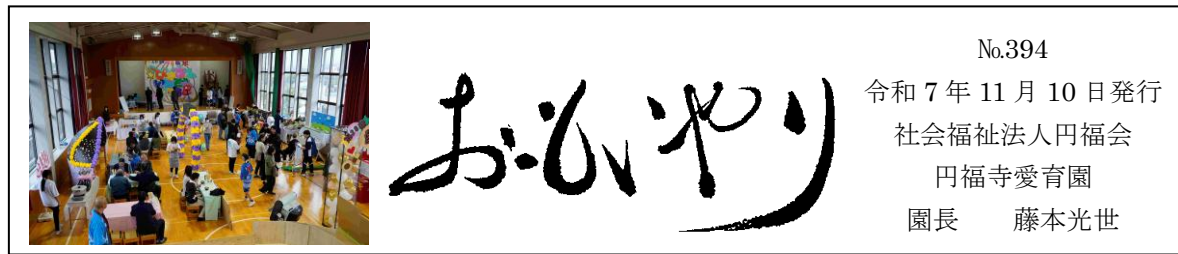


「ピュア イン ザ ワールド」子どもたちの純粋さが輝いた愛育園さとなりました。



素晴らしかった愛育園祭

園長 藤本光世

愛育園祭の日は大雨でした。天気予報が当たらなければいいなあと思っていましたがダメでした。急遽、体育館ですべての行事を行うことになりました。

でも、とってもいい愛育園祭になりました。

インターンシップに3名の学生さんが参加してくれました。ご許可をいただきましたので、その感想を掲載します。感想から、愛育園祭の様子を垣間見ていただけるとありがたいです。

職員さんと児童の距離の近さが印象的でした。私は障害者施設でアルバイトをしているのですが、成人の現場ではスキンシップをとることがないため、貴重な経験となりました。

また、職員さん同士の関係からも温かさが見え、素敵な施設だと感じました。

児童の皆さん一人ひとりが礼儀正しいところも印象的でした。このたびは貴重な経験をありがとうございました。(Aさん)

アルバイトで放課後等デイサービスをしていること、大学で社会福祉について学んでいることもあり、先生方の児童の接し方が非常に参考になった。

また、愛育園の雰囲気がとてもあたたかく、アットホームであり児童養護施設のイメージが大きく変化した。

子どもたちがのびのびと過ごしていて楽しそうに笑っていたことがとても印象的だった。自分自身も非常に楽しむことができ、なかなかできない経験をさせていただいた。

将来、子どもと関わり、成長を見届けられるような職に就きたいと考えているため、参考になった。(Bさん)

私自身、児童養護施設で高校3年生まで生活していたけれど、そこの生活しているみんなの顔とは、子どもたちの顔が全く違ったのがとても印象的だった。私が過ごしていた施設では、みんなが大人の顔をずっとうかがっている、空気がきりつめた状態だったけれど、ここの施設ではみんなが本音で、心から信頼し合い楽しんでいるのが伝わった1日だった。園祭という断片的な部分しか見れていないから決めつける事はできないけれど、明らかに血が繋がっている、繋がっていない以上に深い結びつきがある場だという事は強く感じとることができた。私の学部は、直接的にこのような場所で就職するような学部ではないけれど、とても深い学びを得る事ができまし

(令和7年10月10日発行 月刊「円福」542号付録)

た。貴重なお時間をありがとうございました。(Cさん)

皆さん、この感想を読まれてどうお感じになりますでしょうか。私たちは、自分で自分を見ることはできません。外部の人こそ、私たちを映してくれる鏡です。学生さんは若いですから、子どもたちに近く、素直に正直に感想を書いてくださいます。だから、このような感想は私たちにとって宝なのです。どの感想も珠玉で輝いています。

私にとって、愛育園祭の華は書道パフォーマンスとダンスパフォーマンスでした。書道パフォーマンスは、昨年ダンスを入れてもらうことをお願いし、袴を購入しました。今年は、昨年の経験を生かしてさらに向上しました。エイッ、エイッと言う掛け声にみんなパフォーマンスをそろえて、格好良かったですよ。

ダンスパフォーマンスは、キャンプファイアーでやったのが、とっても印象的で、そして良くて、一度で終わるのはもったいないと思って、愛育園祭でもお願いしました。愛育園祭では、アンコール用に1曲増やしてくれました。幕が開くまでの短時間に高校生の男の子3人が幕前でダンスを披露してくれたのも良かった。1日前に練習したと言っていました。



朝早くアンコール用のダンスを練習しているときに、偶然に若林健太先生がお見えになって、観ていただきました。子どもたちは張り切ったと思います。そして、キャンプファイアーより、さらに趣向を凝らして、みんなで盛り上げて、最後は、あれ何というのかなあ、クラッカーのようにパーンという音と共に花吹雪が舞って、締めました。みんなでもっと楽しむことができたと思います。

準備期間は短くて、なんとなく雰囲気が盛り上がらないなあと思っていたのですが、実はみんな見えないところで準備していたのです。看板コンテストは今年も凝っていました。そして何よりもステージバックはあおぞらの男の子が作ってくれたのでした。知りませんでした。

看板コンテストの表彰式も、食事会も、和やかで楽しくて良かったです。愛育園は日本一の児童養護施設になったことを確信しました。

円福寺愛育園 万歳！ 万歳！ 万歳！

第 28 回愛育園祭

主任指導員 T.M

10月26日、第28回となる愛育園祭が行われました。愛育園祭の目的は「感謝」と「成長」です。日頃お世話になっている学校の先生方、地域の方々、役員の皆様に感謝の気持ちを伝える場が愛育園祭であり、そして、「自分たちの成長を自分たちで伝える事」こそが一番喜んでもらえる感謝の形として、「成長」を表現する事を大事にしています。

今年の愛育園祭のテーマは「pure in the world」にしました。愛育園の子ども達は毎日の生活をひたむきに頑張っています。とても純粋です。私はこの純粋さが愛育園の子ども達の最大の武器だと思っています。純粋であるという事はとても良い事です。純粋であればあるほど成長のスピードは更に更に加速していきます。それなのに最近、いまいち自分たちの純粋さに自信が持てない子が見られる気がしています。価値観の多様化が逆に迷いを生んでいるのか、純粋である事を否定されてしまう事があるせいなのか、理由は良くわかりません。

子ども達にそんな様子を感じていたこともあって、「愛育園祭の舞台を純粋な空間で埋め尽くして、再び自分たちの純粋さに自信を持ってほしい。」と、そんな想いを込めて「pure in the world」というテーマを設定しました。

愛育園祭の準備期間、当日を含めて、至る所に純粋な姿が見られました。

あおぞらホームの中高生の男の子たちは、愛育園祭の中の催しの一つ「看板コンテスト」にすごく情熱を注いでいます。「看板コンテスト」は各アトラクションやお店の宣伝看板を自由テーマで制作して愛育園祭の会場に飾る催しです。男の子たちはアニメのキャラなどからデザインを決め、ここからが凄いのですが、大きな紙に4、5日かけてキレイに下書きをして、そこからまた4、5日かけてポスターカラーで丁寧に色塗りをして、それで完成かと思いきや、今度は絵の具で広い背景をムラの出ないように同じ色を保って仕上げていきます。2週間前から始めて、前日、前々日のギリギリまでこだわって作品を完成させます。今年で5回目の看板コンテストなのですが、最初はこういう事に興味のある子が数人やっていた程度でした。しかも、子どもと職員の関係作りの場になればと思って始めた企画だったのですが、今やほとんどの子ども達が自分たちで最初から最後まで仕上げてしまい、職員の入る余地もほとんどなくなってしまいました。一応コンテストという名目上、園内外で投票をもらって順位はつくし、入賞作品には円福寺券(愛育園祭内通貨)という賞品もつけているのですが、取り組んでいる男の子たちにとってそんなことはあまり重



(令和7年10月10日発行 月刊「円福」542号付録)

要ではなく、いかに自分の納得のいく作品を作り上げるか、ただただ純粋に取り組んでいる様子がありました。女の子達のまごころホームの作る看板もとても素晴らしいのですが、今年の1位2位は両方ともあおぞらホームの作品が選ばれて、製作者の二人はとっても誇らしげにしていました。

まごころホームの女の子たちも、書道パフォーマンス、ダンスパフォーマンス、飲食ブース「ルミナス」の運営など、準備や練習に大忙しの毎日を送り、当日は素晴らしい発表や接客をしてくれました。ダンスパフォーマンスのプロデュースは私がしたので、その様子をお伝えしたいと思います。このダンスパフォーマンスは8月のキャンプ行事でアイドルを模したダンスグループを結成して、キャンプファイヤーで披露して大盛り上がりして、初めての試みでしたが大成功を収める事ができたことがきっかけでした。その勢いで「愛育園祭でもダンスをやろう」となった時も、高校生の女の子たちは「はずかしい」「やりたくない」など一切なく、「早く練習開始しよう」「毎日練習しよう」「3曲くらい踊っちゃおう」とやる気満々にスタートしました。女の子達のやる気に、2週間も前から練習を開始しました。しかし、いざ始めてみると、思いの外、課題曲のダンスが難しくて、「まあ2週間あるし、なんとかなるよね」といった雰囲気が徐々に



Rさん開祭宣言

徐々に悪くなっていき、練習時間に練習をしないでおしゃべりばかりしたり、ついにはケンカのような言い合いやお互い黙り込むような事が始まり、グループ内不和が続きました。きっと自信の無さの表れだったのだと思います。本番4日前には、メンバー1人が練習の雰囲気の悪さに耐え切れず泣き出してしまい、そこまでの完成度も含めて、解散がよぎる程、最悪状況となってしまいました。そんな状況でも、メンバーの子達に「どうする？」と投げかければ、みんな一応は「やる」と答えるのですが明らかに顔つきは暗いのです。どうしたものかと考えて、私から伝

えたことは「もともと何のためにやっているかといえば、自分たちがやって楽しいからやるわけだし、原点に帰って「楽しい気持ちでやる」その１点だけ考えてやろうよ」ということでした。そこから本番までの３日間、怒涛の追い上げが始まりました。ダンスの練習を繰り返し、メンバー同士でコミュニケーションも取り、ダンス以外の登場の仕方やMCや演出などの打ち合わせをして、前日には夜遅くまで入念なりハーサルを行いました。みんな明るく楽しそうにワイワイやっている様子を見て、ほっとしながらも、「楽しくやろう」の声がけに、こうも素直に反応してくれる子達はやはり純粋で素晴らしいなと感じました。本番では本物のアイドルのコンサートさながらに会場を一気に盛り上げてくれて愛育園祭のフィナーレを最高の形で飾ってくれました。終わった後には、雰囲気が悪かった期間の事などおくびにも出さずに「楽しかったね、次はいつ再結成する？」と言ってきた子がいて、人の気も知らないでと思いつつも子ども達にとって充実した思い出となってくれたようでうれしく思いました。

ここ最近の愛育園祭は会場の装飾にもテーマを設けています。今年は「純粋」から連想して、純粋→子供→絵本→童話→ヘンゼルとグレーテル→お菓子の家となって、会場をお菓子の家のような雰囲気にしようと決めました。すると、各先生方が紙粘土でクッキーやドーナツを作ってくれたり、看板コンテストの投票箱にお菓子の家を作ってくれたり、円福寺券をかわいらしいデザインで作成してくれたり、発砲スチロールで大きなキャンディーやマカロンを作ってくれたり、入口にはワクワクするような入場門を作ってくれたり、幼児さんや小学生の純粋な心に届くように、心を込めて時間を惜しまずに準備をしてくださいました。愛育園の先生方もまた、子ども達に負けないくらい純粋な心を持った人たちなのでした。

そして最後に高校３年生のRさんの話をさせてください。Rさんは、それこそ絵本から飛び出てきたような純粋な心の持ち主です。今年の愛育園祭のテーマを「純粋」にしたのは、真っ先にRさんの顔が浮かんだからでした。小さい頃から、心優しく控えめで、純粋すぎる故に周りとのギャップを感じる事もあったと思いますが、そういう時も空気を壊さないように一生懸命合わせようとする健気な性格の子でした。でもそれは自信の無さの表れでもあります。いつもニコニコしていて感じの良いRさんですが、きっとこれまでの人生で「このままの自分で大丈夫なんだろうか？」と考える場面が何度もあったと思います。日常生活の中では劣等感を感じることもあったでしょう。でもRさんは自分の持っている良さ(純粋さ)を変に捨てる事なく高校３年生まできました。中学や高校では書道や合唱で力を発揮して徐々に自信をつけている様子が伺えたり、アルバイトまでするようになって、つい先日は就職の内定ももらえました。自分の良い所を見失わず地道に頑張ってきたRさんは立派で強いなあと感じています。愛育園祭では、開催宣言の役を買って出てくれたり、ダンスパフォーマンスのセンターを務め、なおかつ進行もやってくれました。昔なら「ほかの人の方が向いてるよ」と断るところを前向きに引き受けてくれて、Rさんの笑顔で周囲を明るい気持ちにしてくれました。

今年が最後の愛育園祭となるRさんにとって良い思い出になってくれたら嬉しいです、

社会人になってもその純粋さを忘れずに生活して欲しいと願っています。また、そんなRさんの人柄が周りの子へ良い影響となって伝わってくれたらいいなとも思います。

多くの方が愛育園祭に来てくださり、子ども達の様子をみて頂けたこと、大変ありがたく思っています。また来年、子ども達の更に成長をした姿を見ていただけるように、子ども達ともに楽しく過ごしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

第 28 回愛育園祭

まごころホーム長 I・S

第 28 回愛育園祭が 10 月 26 日に行われました。当日はあいにくの雨でしたが、無事開催することができました。お忙しい中お越し下さった皆様ありがとうございました。

さて今年の愛育園祭テーマは「ピュアインザワールド」です。子どもたちの純粋な心を思い切り表現しようという想いが込められたT先生がテーマを決めてくれました。愛育園祭の準備期間は約 2 週間ほどです。長期間の準備よりも短期集中で取り組む方が得意な子どもたちですが、短い期間での準備なので、その期間は愛育園祭一色の毎日になります。まごころホームの子



どもたちもそれぞれ役割分担があり、担当の先生と相談しながら作業を進めていきました。飲食の看板作りから飲食ブースの準備、駄菓子の準備、書道パフォーマンスの練習があり、あまりの忙しさに 1 日経つのがとっても早かったです。ですが、こんな事をやったら子どもたちは喜んでくれるかな、来ていただいたお客様は楽しんでもらえるかな、と考えながら準備をする時間はとても楽しく充実していました。子どもたちも準備が大変、と言いながらもどこか楽しそうな表情をしながら準備を進めていくことができました。

今年も飲食ブース「ルミナス」を開店しましたが、去年よりもさらにバージョンアップしたものをやりたいと思い、高校生たちと相談しながら進めていきました。去年よりもメニューの数を増やすことや、どんなメニューにしたら喜んでもらえるかをみんなの意見を聞きながら決めていきました。去年の経験を活かしながら当日お客様を迎えることができました。お店番をしていたTさんは去年はなかなか自分から周りを見て動くことができずにいましたが、今年は自分の担当場所だけでなく、周りを見ながら気を配り動いていて、すごく成長を感じました。他の子どもたちも「先生これやとく？」と自分から聞いて動いている姿が多くあり、今までの行事の経験がとても生きていて一人一人の成長を感じることができました。また今回の愛育園祭では高校生たちの発表もありました。毎日遅くまで練習に取り組み、本番では会場を盛り上げてくれました。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

そんな姿を見て憧れている小学生もいました。愛育園祭は他の行事とは違い、準備がとても必要な行事です。ですが、準備を子どもたちと進めていく中でたくさんの会話が増え、良い時間を過ごすことができます。みんなの努力が形となり、来ていただいた方や小学生、幼児さんたちに喜んでもらえ素晴らしい愛育園祭になりました。

愛育園祭

あおぞらホーム Y.S

10月26日、愛育園祭がありました。昨年の愛育園祭終了後から来年の愛育園祭はどんなアトラクションにしようかとずっと考えてきましたがなかなか良いアイデアが浮かびませんでした。子供たちの意見も聞き色々と考えて当初「人間クレーンゲーム」を思いつきました。しかしイメージしてシュミレーションしていくとちょっと現実的ではない、という答えに至りました。ホーム長からのアドバイスもあり今年は「コースターシューティング」とおととしから続いている「電流イライラ棒」をそれぞれ進化させていくことに決めました。

そして自分は装飾の係でもあり、計画を立ててイメージしていくと結構時間的な余裕がないことに気づきました。三つの大掛かりな制作を同時進行していくにはどうすればいいか、体育館が閉鎖になってからでないとできないものもあり、その間に完成できるものを優先しつつ、閉鎖になってすぐに取り掛かるにはどんな準備をしておけばよいか、昨年と比べてどんな進化をさせていけばよいか、など考えることはたくさんありました。また、子どもたちを絡めていくにあたってどれを子どもに任せればよいかその為の下準備も必要でした。子どもたちは看板の制作に集中していたため看板は任せたからアトラクションはこちらで集中しようと思い制作に取り掛かりました、ギリギリの完成は嫌なので愛育園祭の前々日には完成できるように進めていき予定通り完成することができました。愛育園祭当日は2時間ほどのオープンですがその為に何カ月も前から頭をひねり、何日もかけて作り上げるのはとても楽しかったように思います。そして、看板コンテストではコースター担当のK君が見事1位になることができました。K君は昨年の看板コンテストでは2位で悔しい思いをしており今年の看板はかなり気合が入りながら制作していました。手伝うよ、と声をかけても「大丈夫です」と言いすべて一人で完成させ見事1位を勝ち取りとても嬉しそうでした。

また、愛育園祭が終わり片付けに関してももったいなさはありませんでしたがみんなの力が合わさり、あっという間に跡形なく体育館がきれいに片付いたこともすごかったと思いました。

そして、来年に向けてもう今からアイデアを考えて行きたいと思います。

『愛育園祭』

まごころホーム T. S

先日、第28回愛育園祭が行われました。今年もまごころホームの中高生と職員で「書道パフォーマンス」を披露することになり、約10日間ほど毎晩みんなで練習を重ねてきました。昨年から音楽に合わせた振付や小道具などを使用してレベルアップをしており、今回もある高校の

(令和7年10月10日発行 月刊「円福」542号付録)

作品を参考に、去年よりも振付が多く、スピードが求められるものに挑戦しました。まず、全体練習では曲の中でどんな動きをするのかという流れの確認から始めました。ただ、これが思ったよりも難しく、本番までに間に合うのかなと日々不安を感じていました。ですが、全体練習以外にも時間を見つけて個別練習をたくさん行い、修正点を早く見つけて改善することを繰り返していくことで、本番2～3日前にようやく形になってきました。だんだんとお互いに教え合う姿も見られ、子どもたちも自信がついてきたように見えました。その中でも、今年卒園するRさんとUさんは姉妹で、それぞれ大きな文字を担当しました。Rさんは開祭宣言でも話していましたが、心配や不安を感じやすく自信なさげなふるまいをすることが多かったのですが、書道を習い始め、特技になり、今も頑張っていて続けてきたことで大きな自信を身につけました。本番も堂々と書き上げてくれて頼もしかったです。また、Uさんは困難なことがあるとつい顔に出てしまい、今回は音楽にタイミングを合わせて動くことになりかなり苦戦していましたが、個人練習を繰り返すたびに最後は「タイミング分かってきた」と安心した様子も見え、本番も一生懸命やり切りました。二人とも、最後の愛育園祭で重要な役割をしっかりと務めてくれて良かったです。当日、あいにくの雨で外ではなく体育館での発表となりましたが、全員で集中して成功させることが出来て本当に良かったと思います。他にも飲食ブースの「ルミナス」や、あおぞらホームによるアトラクションなど、お客さんに喜んでもらうための工夫がたくさんあり、子どもたちの力は本当にすごいなと改めて感じました。普段の生活でもこういったいい姿を伸ばしていけたらと思いました。

第28回愛育園祭

あおぞらホーム F・K

円福寺愛育園では、10月26日に、今年も愛育園祭を行いました。

愛育園祭では、毎年あおぞらの中高生はアトラクションの準備とポスター作りなどの準備を行っていますが。今年は中でもポスター作りを頑張っている姿をよく見ました。私は今年、モグラたたきを担当したのですが、一緒にモグラたたきを担当した中学3年生のHくんもアニメ「ハイキュー!!」のキャラクターをモチーフに頑張ってポスターを描いてくれました。その他のポスターもみんなとっても素敵なポスターができており、感心させられました。

また、毎年ですが、アトラクションはとっても立派な物が作られており、当日は小学生や地域の方々、学校の先生方などたくさんの方々に遊んでいただき、楽しんでもらう事ができました。また、その中でアトラクションのスタッフをしていている中高生がお客さんに楽しんでもらうため、しっかりと仕事をこなす姿をみて、立派だと改めて感じました。

今年の愛育園祭は、当日に雨が降ってしまい予定していたお神輿や扇子演舞ができずに残念でしたが、それが気にならないほど素敵な愛育園祭になったと思います。また来年も楽しみです。

第28回愛育園祭

まごころホーム M. S

朝晩の冷えが日ごとに感じられると同時に、周りの木々が段々と色付き始めた頃、愛育園祭

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

が行われました。当日はあいにくの雨となってしまう、子どもたちは残念そうでしたが、精一杯思い思いに楽しんでいる姿がありました。毎年の恒例の書道パフォーマンスは、中高生と職員が夜遅い時間から練習を重ねていきました。パート毎振り付けを練習したり、動きをつけながら文字を書いていく場面では、全員で合わせる事が難しく、文字がおさまらなかったり、中々そろわないことがありました。夜の練習時間だけでなく、子どもたちが学校から帰ってきた後に集まって、タイミングを合わせる練習を重ねていくと、少しずつ形になっていきました。たくさん練習をした成果が本番で発揮され、堂々とした発表をすることができました。終わった後の子どもたちの達成感にあふれる表情が印象的でした。

また、今回はキャンプの時に披露したダンスを再結成して皆さまの前で発表することになりました。「ぴゅあいんざわーど」と、「倍倍ファイト」を踊りました。高校生たちはバイトや学校で忙しい中でしたが練習を頑張っていました。ダンスが得意な子、不得意な子いるので教え合ったり助け合って練習している姿がありました。本番数日前から発表に向け、段取りを考えたり、登場の仕方を相談し、だんだん気持ちが高まっていく様子が伝わってきました。本番は高校生の頑張った姿を見てもらえたことも嬉しかったですが、他の子どもたちが盛り上げてくれたのでとてもいい発表になったのも良かったなと思います。盛り上げてくださり、ありがとうございました！

飲食店のルミナスも子どもたちが率先して動いてくれ、来ていただいたお客様方に満足していただく事ができ、大成功に終わってよかったなと思います。

愛育園祭を通して、子どもたちが素直な気持ちをさらけ出したり、自分はこんなこともできるんだ、と自信を持つことが出来たらいいなと思います。今年も残り2カ月を切ってしまいましたが、良い締めくくりができるよう、子どもたちと過ごしていきたいと思います。

愛育園祭 ダンスパフォーマンス

まごころホーム T・M

今年も愛育園祭が行われ、ラストにはまごころ高校生、職員で結成されたアイドルグループのダンスパフォーマンスを行いました。キャンプに引き続き同じメンバーでダンスの発表をするという告知があると、すごくワクワクしていることが表情や会話から感じられました。今回は新しく愛育園祭のテーマにもある「ぴゅあいんざわーど」という曲に新たに挑戦しました。毎日少しずつ練習を進めていきました。特にダンスが得意なTさんは率先して振りを覚えていました。私も少しずつ練習を始めていましたが、あっという間に子どもたちに追いつかれ、教えてもらうことがほとんどになりました。私は振りを覚えるのが得意ではなく、同じくあまり得意ではないUさんと仲間だと思っていたのですが、何日かするとUさんはほとんど振りを覚えていて、置いて行かれてしまいました。高校生は学業やアルバイト、書道パフォーマンスがある中での練習で、時には疲れもあり思うように練習が進まない事もありましたが、少ない時間の中で充実した練習をすることができたと思います。みんなでおしゃべりをしながら、楽しく練習を進めることがで

(令和7年10月10日発行 月刊「円福」542号付録)

きました。本番の1日前には決起集会をし、当日の段取りや最終確認を行いました。本番を意識するとみんな少し緊張している感じでした。本番良いパフォーマンスをするために、みんながひとつになったような感じがしました。そして、ついに本番になりました。アトラクションが終わり、発表までにあおぞら高校生や残りの子どもたちや先生方がとても盛り上げてくださり、最高の発表ができたと思います。ステージの演出もあり、すっかりアイドルになりきってダンスすることができていました。みんなすごく良い表情をしていました。終わった後は、やり切ったね、楽しかったね、と自然に会話していました。とても思い出に残る経験になりました。

第28回愛育園祭

調理主任 M・M

愛育園祭の意義である「感謝」を心におき、調理では「ルミナス」のお手伝いをさせていただきました。メニューにある、※チョコバナナ※唐揚げ※フライドポテト※フランクフルト※お餅※豚汁※飲み物。まごころのホーム長が提案を下され、この7品を調理内で分担し、何度か試作をしてみました。前日のプレオープンでも10食分を提供し体育館に持っていくと、まごころの中高生が素晴らしい接客の練習をしていました。先生方の懸命なアドバイスに従い「おもてなし」の心がよみとれました。

当日は雨になってしまい、予定もかなり変更にはなりましたが提供時間を少し早め、とり掛かりました。無事時間内には仕上げる事が出来ました。

そして、調理ではお客様にお持ち帰りして頂くお餅を用意させていただきました。

7時から2升餅を3臼子供達についてもらい、(あんこ・ごま・きな粉)のパックを70セット作り、残りはルミナスのメニューのお餅用にしました。

又、あおぞらのホーム長より会場作りの一部の「お菓子の家」に飾り付けるお菓子作りをとの事で、調理の先生方が一生懸命おりをみながら、紙粘土で作ってくださいました。

色々創意工夫が凝らされとても美味しそうなお菓子が飾り付けられました。

いつもいつも思うことですが、ホームの先生方は時間を惜しみなく子供達と寄り添い準備

をされている様子は本当に頭の下がる思いです。

それが全ての行事の成功につながっているのだと思います。お疲れ様でした。

又、あいにくの雨の中にも関わらずお越しいただいたお客様ありがとうございました。

あおぞら児童感想

高1 F K



準備から片付けまでが楽しかった愛育園祭

9月が終わり、10月中旬に入ったころ、とうとうこの日がやってきました。それは10月の伝統行事である愛育園祭です。毎年自分達が一から作り、子どもたちや、普段お世話になっている学校の先生方、そして来賓を招待し、子どもから大人まで楽しめるそういった行事です。こういったことから、今年はもっといろんな人に楽しんでいるよう当日2週間前から準備に取り組みできました。まず自分の今年の役割は、「コースターシューティング」というアトラクションを任されました。

大掛かりな仕事だったのでとても大変でした。また今年はステージバックも作りました。今年のテーマは「ぴゅあいんざわーど」というテーマです。それを題名



にし、大きな紙に書きました。大変ではあったものの、やりがいを感じられたので良かったです。また、毎年やっている看板コンテストの絵にも挑戦しました。第五回目となる看板コンテストですが、前は惜しくも2位で悔しい思いをしたので、今回はリベンジに燃えていました。こういった様々な準備をし、当日を迎えました。当日の天気はあいにくの雨となってしまう、毎年外でやっていた開催式を体育館ですることになりました。そこでは毎年恒例の書道パフォーマンスが披露されました。毎年違ったパフォーマンスを見せていただきますが、迫力がすごく、思いが伝わるパフォーマンスでした。その後はようやくアトラクション開始です。始まった瞬間にたくさんの方が、自分が営業しているアトラクションに来てくれました。「難しい」や「楽しかった」「もう一回！」という声が多く上がり本当に良かったです。その後は自分も他のアトラクションへ行き存分に楽しむ事ができました。特に面白かったのは射的です。自分はとても欲しい商品がありましたが、それは特賞でした。なので慎重に狙いを定めて打つことに集中しました。そしてなんと3発目にして特賞を当てる事ができました。とても嬉しかったです。そしていよいよ愛育園祭終了まじかですが、ここであることをしました。それは今流行りのナルトダンスです。愛育園祭を最後まで盛り上げたいことから、前日の夜に覚えて、当日踊り切り、盛り上げる事ができました。本当にやって良かったと思います。そして最後に、看板コンテストの結果発表がありました。他の作品も素晴らしい看板が多く、1位は狙えないかも…と思いましたが、いままでの努力は間違いないとドキドキしながら願っていました。そして、天の神様が与えてくれたかのようになんと1位になることができました。本当にうれしく思います。今回の愛育園祭は、準備から片付けまで本当に楽しかったな—と思います。先生方には感謝の気持ちをもってこれからも行動

していきたいと思います。来年も今年よりさらにいい愛育園祭になってほしいです。

高2 k k

愛育園祭

今年のテーマはぴゅあいんざわーどでした。そのテーマから純粋にみんなで愛育園祭を楽しみたいと思いました。そのため、お越しくださるお客さんや、子どもたちをいっぱい楽しませてあげたいと思い、装飾としてお菓子を紙粘土で作ったり、今までやっていなかったステージバックを作りました。その他にもアトラクションをみんなに楽しんでもらえるようにボードにマイケルジョーダンの絵を描きました。準備期間を全力で楽しむ



事ができたと思います。そして迎えた当日。あいにくの大雨でしたが、素晴らしい書道パフォーマンスや木遣りもあり、愛育園祭はいいスタートを切ることができました。その後、アトラクションがスタートしました。バスケットゲームは最初から最後までお客さんが絶えることなく、幅広い年齢層の方々に楽しんでもらえました。今までの努力が報われたような気がしてとても嬉しかったです。後半は僕も他のアトラクションを回り楽しみました。特に楽しかったのは射的です。一番の狙いは特賞でしたが、何ももらえないのは嫌なので一等をまず狙いました。すると4発目で当てる事ができ、残り3発で特賞に挑戦しました。結果は、見事2発目で的中。大きな亀のぬいぐるみを手に入れる事ができました。2年連続で特賞を取ることができてとても嬉しかったです。そして愛育園祭が終わると同時に、看板コンテストの発表もありました。結果は惜しくも2位でとても悔しい思いをしました。来年を絶対に1位をとれるように頑張りたいです。とても楽しい1日になりました。

小6 MU

楽しかった愛育園祭

10月26日に第28回愛育園祭がありました。当日は残念ながら雨が降っていたため、おみこしや外での木遣りができませんでした。なので木遣りは中でやりました。僕は木遣りをいちばん前に立ってやりました。初めて一番前で木遣りをやったので、できるか心配だったけど、ミスなくやりきることができて良かったです。その後、アトラクションを楽しみました。今回はいつもより点数を稼ぐ事ができ、880円福寺券がもらえました。それでお菓子をいっぱい買えたのでとても嬉しかったです。アトラクションが終わった後に、看板コンテストがありました。僕は豚汁の看板を作りました。上位5位に選ばれた看板を作った人はプラスで円福寺券がもらえるので、選ばれたかったのですが、残念ながら選ばれませんでした。来年は選ばれるように良い看板を作り

たいなと思いました。とてもいい思い出になりました。

まごころ児童感想

愛育園祭

今年は、雨が降ってしまったので扇子演舞はやらずに開会式と書道パフォーマンスのみ体育館でやりました。書道パフォーマンスでは、去年よりレベルが高くて全体的に文字が大きく、最初はあまり大きく書けませんでした。しかし、先生たちからアドバイスをもらいながらやったら、本番では今までで一番良い文字が書けたと思います。また、絵の具を伸ばすところも最初は短くなってしまって上手くいかなかったけど、練習を積んだらバランスよく伸ばせるようになりました。練習では色々なハプニングが少しあったけど、本番ではお客さんにしっかり良い発表を見てもらえたと思うので良かったです。ルミナスでは、私はほとんどからあげをつめる作業をしました。お客さんが少しずつ来てくれたので落ち着いてしっかり対応ができ良かったです。私は、風邪をひいていて裏方しかやっていないけど、裏方の中でもみんなで協力してお客さんに喜んでもらえたので良かったです。そして、アトラクションは友達が来てくれたので友達と回りました。パターDE ゴルフで10個中6個も入ってしまい、210点という高得点を取ることができ嬉しかったです。練習では1個しか入らなかったの、本番では結果が残せて良かったです。また、コースターでも練習では的を1つも倒せなかったけど、本番では1枚倒して20点取ることができたので良かったです。そして、合計点は970点でたくさん駄菓子を買うことができました。

今回は練習期間が短くて、特に書道パフォーマンスが仕上がるか不安だったけど、修正するところはしっかり直しながら、去年よりレベルアップした姿を先生方やお客さんに見せられて良かったです。看板コンテストは残念ながら入賞できなかったけど、第28回愛育園祭は大成功だと思うので良かったです。(中2 M・H)

楽しかった愛育園祭

今日は、愛育園祭がありました。雨が降ってしまってパフォーマンスしなくなったのもあったけど、書道パフォーマンスは体育館で思いっきりパフォーマンスすることができて良かったです。

次は、アトラクション・飲食店の部を行いました。私は、飲食店の担当でした。飲食店の中でも、私の大好きな「チョコバナナ」と「豚汁」を担当しました。始まった15分くらいに飲食店「ルミナス」にお客さんが来て少し大変だったけど、「豚汁おいしい」と言ってもらえてやりがいを感じることができました。また、アトラクションでは、得意のバスケットをやって、最高記録を出すことができてとても嬉しかったです。また、パターゴルフのアトラクションでは、10球中6球入れることができて嬉しかったです。

その後、私たちのアイドルグループのライブを行いました。キャンプで初めてやり、2カ月程経った後にまたライブができると聞いて嬉しかったです。踊った曲は「ぴゅあいんざわーど」です。少し難しいところもあって苦労したし、練習がうまくいなくてメンバーの一人が欠けてしまうこともあったけど、2週間しっかりと練習をして最高のパフォーマンスをすることができ

たので良かったです。また、アンコールには「倍倍 FIGHT」も披露することができて良かったです。

最後に、慰労会の時に飲食店で出したものを食べたり、看板コンテストを行いました。私は、今回「フリフリポテト」の看板を作りました。デザインは今までにないクレヨンしんちゃんにしました。自分的にはとても気に入ったけど、表彰されず悔しかったので、来年はもっと良い作品ができるように頑張りたいです。

とっても楽しい一日でした。(高2 Y・T)

第28回愛育園祭

10月26日に第28回愛育園祭がありました。今回は雨が降っていましたがいつも通りやることができたので良かったです。

今年のテーマは「ぴゅあいんざわーど」です。純粋な気持ちで準備や練習をしてきました。特に印象に残っていることは、「書道パフォーマンス」「ダンス」です。書道パフォーマンスは、去年より難しくなり、大文字だったこともあったのですごく難しかったです。本番では、堂々としたので良かったです。ダンスは、キャンプに引き続きライブを行いました。テーマ曲の「ぴゅあいんざわーど」を踊りました。またアンコールでは、「倍倍 FIGHT」を踊りました。練習中たくさんいろんなことがあったけど、本番楽しく踊ることができたし盛り上がることもできたので良かったです。他にも、アトラクションの部や飲食ブースを楽しむことができました。また、「開祭宣言」をやったのも心に残っています。覚えられるか不安だったし緊張もしたけど、しっかり言えたので本当に良かったです。最後の愛育園祭を思い切り楽しむことができました。いい思い出になりました。

(高3 S・R)

調理室だより

調理員 I・H

《行事メニュー》

愛育園祭で今年も飲食ブース「ルミナス」が設けられました。

- | | |
|----------|-------------------------------|
| ・フランクフルト | ・フライドポテト |
| ・チョコバナナ | ・お餅(みたらし、明太バター、磯辺) |
| ・唐揚げ | ・飲み物(コーヒー、お茶、オレンジジュース、メロンソーダ) |
| ・豚汁 | |



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(令和 7 年 10 月 10 日発行 月刊「円福」542 号付録)

・愛育園祭ダンスパフォーマンスを終えて

キャンプでのダンスに引き続き、愛育園祭でも披露させて頂くことになり、本番に向けて毎日まごころの高校生達と頑張ってきました。

今回は前回の「倍々ファイト」ともう一曲、テーマ曲でもある「ぴゅあいんざわーど」の 2 曲でした。まずぴゅあいんざわーどは曲を覚えるところから始まり、振付とスピードも早く、しかも今回はステージでの披露ということで正直不安が募るばかりでした。

ですが、みんなで集まって練習していくうちに、不安よりも、頑張って仕上げよう！ここしっかりそろえたい！などの気持ちになりました。特に高校生は夜の練習に加えて朝の 5 時から練習をしていて、その気持ちに自分も応えなくては！と思い、なんとか仕上げる事が出来ました。本番も緊張で振付、立ち位置が飛んでしまうのではないかと心配していましたが、不思議とキャンプの時よりも伸び伸びとみんなで楽しく踊れた気がしました。なぜかな？と考えると、踊っている時に幼児さんから職員までのたくさんの方のコールがとても聞こえました。その力が本当に大きかったです。

無事パフォーマンスを終える事ができて、練習、本番、ステージ準備、コールなどたくさんのお力があって素晴らしいステージが出来たことに感謝でいっぱいです。貴重な経験を本当にありがとうございました。